

(株)清水合金製作所



課設計開発部設計開発本部技術

高木 秀是さん

工学部機械システム工学科卒
入社4年目



最新の3Dスキャナ使い部材の寸法測定正確に

水道用バルブの検査台数で近年トップ

清水合金製作所は昭和22年創業の水道用バルブメーカー。平成7年にキックグループに参画し、今年で75周年を迎える。主要製品は、管路に設置するソフトシール仕切弁や空気弁、補修弁、消火栓や特殊弁などの水道用バルブで、開発から製造、販売まで一貫したモノづくりを行っている。

同社の特色について、「近年、日本水道協会の検査台数でトップを維持しています。多品種少量生産が求められる近年のニーズに対応した生産管理システムをいち早く確立し、改善の努力を日々積み重ねるなかで当社の強みを打ち出せているの

だと思っています」と高木さん。

オリジナル製品の開発にも積極的に「長寿命化や耐震化といったニーズに対応するバルブ製品を次々と上市しています。また、電動バルブの電気制御技術を活かして開発した水処理装置も災害時の応急給水用、小規模集落向けの常設用とも好評です」と紹介する。

耐塩索性ゴムを研究

担当業務は「製品の設計と製図業務を担当しています。バルブを設置する現場状況から仕様を固め、寸法や材質を修正しながら図面に落とし込んでいきます。」

こうした日常業務と並行し、開発設計部の各社員には研究開発テーマが

競争力高い会社で成長を 研究開発の大役1年目から

与えられる。「先輩から引き継ぐ形で、入社1年目の夏にゴム材の高品質化に取り組んだことが強く印象に残っています。ゴム材はソフトシール仕切弁の弁体にライニングされており、管内の水道水に常時接触します。こ

うした環境において耐塩索性を高め、長寿命化を目指すものです。現在は研究開発を終え、改良製品がすでに販売されています。苦労も多かっただけに、達成感のひとつお話しした」と喜びを語る。

研究開発の過程で自ら成長を実感できた目を輝かせる。「新入社員ですから当初は分からないことばかりでしたが、先輩や上司に逐一相談しながら製図、試作品の製作と性能試験、工程チェックまで、一連のプロセスに携わりました。この間、ゴム材や試験装置の製造企業にも足を運びつつ、性能評価試験の方法を考え、学んだ知識やノウハウは技術者として大きなステップアップになったと実感しています。」

成長の場として魅力

大学では流体力学の研究に励むなか、自動車や電機に加え水道界も就職先として意識していた。

「人々の生活基盤を支える水道界に貢献しつつ、自らを成長させながら長く働ける企業として魅力を感じました。具体的には、水道用バルブで近年トップシェアを維持していることから企業競争力の高さが窺え、高い技術力を持つ先輩方の力強いサポートを得ながらスキルアップできるのではと考えました。入社後に感じたのは、社内の風通しの良さです。若手社員も発言しやすい雰囲気ですし、こうした社内環境も離職率の低さにつながっているように思います。」

学生に向けたアドバイスは「より良い水道インフラ作りに貢献できるやり甲斐ある仕事です。興味を持ってぜひ、説明会に参加してほしいです。ね」とエールを送った。